



九州・熊本を中心に梅雨前線停滞が引き起こした豪雨は九州7県と岐阜・長野に甚大な被害をもたらしました。数年に一度と言われる被害が今、毎年のように出ていることに心痛めます。被災地の方々に心よりお見舞い申し上げます。

又新型コロナウイルスで世界の景色が一変しました。コロナ禍の中で世界が模索しながら大きく変わろうとしている中、今年も庭のレモンの木が花をつけ、青い実が日々大きくなっています。変わりない木々の緑に癒され、心が平和でありたいと願っています。

ボランティア便りもインターネットでの集まりです。今後共ご協力賜りますようお願い申し上げます。

☆令和2年7月豪雨

九州熊本を中心に、かつて経験した事のない雨量により、河川の氾濫、堤防の決壊、土砂崩れ等による、家屋への浸水、倒壊で90名近い方々が犠牲者となりました。



球磨川の氾濫で被害を受けた熊本県球磨村の住宅地・神奈川新聞

更に熊本だけでも6200棟以上の建物が浸水し、非常に多くの方々が住む場所を失う被害となりました。

コロナ禍により避難所は、定員を減らす対応をとるなど、三密を避けながら、新型コロナウイルス感染や熱中症のリスクと背中合わせの避難所生活を余儀なくされている方々がいらつしやいました。本来は、一人でも多くのボランティアの力が必要なはずですが、地域を限定した形での呼びかけとなり、復旧の手を止めてしまう現実もある中、1日も早く穏やかな日常を取り戻せますようにと願って、被災地に義援金を送らせて頂きました。

☆教育支援 (インド)

2020年7月からインド・アンドラプラデシュ州ビジャカパトナムにおいて10・11・12クラスの子供たち30人の教育支援を行うことといたしました。一人一ヶ月1000ルピーです。

現在私立高校に在籍していますが家庭の経済的事情で成績優秀であるのに通学が困難になっている子供が対象です。

選別は各高校の校長の推薦によりです。

インドでは成績優秀な子供は私立高校へ行き大学進学をめざします。

このことはエルエンジェルチャイルドホーム(孤児院)の子供たちの経緯をもっとも知るところです。

ホームの男子2人は私立高校から大学に入学し特待生として学費無料、その上生活費まで補助を受け現在にいたっています。このことで、強い学習意欲があり成績優秀な子供を支援することの大切さを学ばされています。

この子ども達がインドと日本の架け橋になってくれることを楽しみにしています。

※コロナの影響でインドの学校開校が9月からとなり、生徒のプロフィールも遅れています。送られ次第ご報告いたします。



☆無料塾 ねこの手

○食事支援開始

ねこの手「無料塾」の生徒さん達に、食事支援をさせていただいています。

この度のコロナウイルス感染拡大での自粛、外出規制などで一人親のご家庭では特にお困りではないかと思ひ、支援を申し出ましたところとても喜んでいただき、F社のご協力のもと週に一度夕食(お弁当)を提供させていただいています。

学校が休みでゲームや遊びに夢中になるお子さんが多い中、学ぶことに真面目に向き合っている生徒さん。懸命に教えていらつしやる先生方。教育の大切さや将来のこと、前向きに頑張る皆様に、感動します。

世界の平和は

一人一人の心の平和からなる

け

おしゃべり・お節介・お料理・人間大好き

「温かい味噌汁一杯で安らぐひと時を感じてもらいたい、このお昼であつ！もう一回頑張り直そうかと思つて頂く、ちよつとした時間を感じてもらえたら嬉しい」そう話すのは、熊本県在住の本田節さんです。

22年前、地産地消にこだわり、安心安全をモットーに地域の女性達と球磨川沿いにレストラン「ひまわり亭」をオープンさせました。令和2年7月豪雨による球磨川の氾濫により、ひまわり亭も床上1メートルの浸水被害を受けました。しかし、いち早く厨房を元に戻し被災者を元気づけたいと、借り物のキッチンカーで温かい食事を提供する為に、被災者の元へと向かう姿をニュースで知りました。食事の提供を受けた74才の男性は、「10日ぶりの温かい食事で有難く、涙が出てきます」と話していらつしやいました。

節さんは地元で就職、結婚し3人の子供に恵まれましたが、37才の時にガンを患い40才で再発するも、この事がきっかけで食・農・命について深く考えるようになり、ボランティアやまちづくり活動を始める事になりました。

「後悔のない生き方をしなさい、思いっきり生きてほしい、誰もが明日の命は分からないから」と言ってくれる家族の存在がありました。

節さんは、キッチンカーでの食事の提供だけでなく、コロナ禍で避難所に行く事が出来ない被災者の為に、私設ボランティアセンターを立ち上げ、必要な人に必要な物が届けられる態勢作りも同時に行っています。

「挫折・失敗・苦しみがバネになって今を生かして頂いています」と、語る節さんの姿に、私は終わりの見えないコロナの脅威をどう捉えて、自分らしい生き方をしたらいいのかと、我が身に問いかけます。



☆今年も寄附金を！

社会福祉法人「進和学園」が運営する「しんわ本人自治会連合会」様より今年も寄附金を戴きました。

毎年3月に寄附金を戴いておりましたが、今年は新型コロナの影響で7月に平塚市庁舎において他の団体の方々と共に戴きました。

学園の利用者で組織する同会は学園関係者や支援者に呼びかけ、集まった募金を「困っている人の助けに」と多くの団体に寄附をされています。

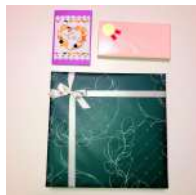
当協会も毎年寄附金を戴き、ネパールやインドの子ども達の教育支援に使わせて頂いております。貴重なお心に厚くお礼申し上げます。

☆東日本大震災支援

○お誕生日プレゼント

7月に11歳になるHちゃんへのお誕生日プレゼントに、商品券とクッキー、バースデーカードを送らせていただきました。

身長が150cmを超えてたそうで、「とても助かっています」とお婆様からお礼の電話をいただきました。



○編集後記

コロナ拡大から学ぶことが沢山あり、真剣にとり組まなければと思えます。学べることに感謝して。(Y・E)

○ “共に助け合いたい”それが私たちの願いです。ご協力、よろしく願いいたします。

- 支援金振込先 郵便口座 口座名 特定非営利活動法人エル・エンジェル
記号 10290 口座番号 68107191
- ゆうちょ銀行 口座名 特定非営利活動法人エル・エンジェル
店名 (028) 店番 (028) 普通預金 口座番号 6810719
- 三菱東京UFJ銀行 口座名 特定非営利活動法人エル・エンジェル国際ボランティア協会
海老名支店(409) 普通預金 口座番号 0966597